

防災サバイバル体験で災害に 強い人になろう

—地域のお年寄りや子ども達の支
援をとおして命の大切さを学ぶ—

愛知県立日進高等学校

日進高校防災ニュースの発行

2007/11/05

日進高校 防災ニュース 11月号

保護部

9月号では、「災害宣言」について取り上げたいと思います。

「災害宣言」とは「2〜3日以内または数時間以内のマグニチュード8程度の大地震が発生し、学校内で震度6以上の揺れに襲われる恐れがある」という警告で、緊急時の避難行動に活用される場合に発せられます。警報が発せられると、テレビやラジオなどの放送のほか、市役所の広報車やサイレンなどからも伝えられます。

緊急宣言について

緊急宣言とは「2〜3日以内または数時間以内のマグニチュード8程度の大地震が発生し、学校内で震度6以上の揺れに襲われる恐れがある」という警告で、緊急時の避難行動に活用される場合に発せられます。警報が発せられると、テレビやラジオなどの放送のほか、市役所の広報車やサイレンなどからも伝えられます。

緊急宣言後のライフライン

電話	使用できるが、できるだけ限られる。
ガス	使用できる。使用するときガスを器具から離れたい。
電灯	できる限り使わない。どうしても使わなければならない場合は、1人1人確認し、消火器を準備し、消火器がなくなるまで使用を続ける。
バス	付近の安全なところまで運行し、運行は中止される。
鉄道	乗客の安全な場所に待機し、運行は中止される。
道路	避難場所や避難経路が確保されるため交通規制がある。
コンビニ	できる限り営業を続ける。
デパート	原則として営業停止。(一部のATMは使用可能)
銀行	原則として営業停止。(一部のATMは使用可能)
病院	外来診療停止。
学校	授業は原則として中止(義務教育)が原則である。

緊急宣言が発令されると、その準備行動のため、大規模な避難行動が必要になることが予想されます。どのような事態になるのかを把握し、いざというときに冷静に安全な行動ができるよう、事前に家庭内で役割分担などを決めておきましょう。

●危険地域からは早く避難を
まず第1に、火の始発をまよまよ。その上で、津波・山崩れ・崖崩れのおそれがある危険な地域から早急に避難して下さい。その地域では、家内の安全なところを避難先に選んで下さい。

2007/11/05

日進高校 防災ニュース 11月号

保護部

6月号では、「災害宣言」について取り上げたいと思います。

災害宣言とは「2〜3日以内または数時間以内のマグニチュード8程度の大地震が発生し、学校内で震度6以上の揺れに襲われる恐れがある」という警告で、緊急時の避難行動に活用される場合に発せられます。警報が発せられると、テレビやラジオなどの放送のほか、市役所の広報車やサイレンなどからも伝えられます。

緊急宣言について

緊急宣言とは「2〜3日以内または数時間以内のマグニチュード8程度の大地震が発生し、学校内で震度6以上の揺れに襲われる恐れがある」という警告で、緊急時の避難行動に活用される場合に発せられます。警報が発せられると、テレビやラジオなどの放送のほか、市役所の広報車やサイレンなどからも伝えられます。

緊急宣言後のライフライン

電話	使用できるが、できるだけ限られる。
ガス	使用できる。使用するときガスを器具から離れたい。
電灯	できる限り使わない。どうしても使わなければならない場合は、1人1人確認し、消火器を準備し、消火器がなくなるまで使用を続ける。
バス	付近の安全なところまで運行し、運行は中止される。
鉄道	乗客の安全な場所に待機し、運行は中止される。
道路	避難場所や避難経路が確保されるため交通規制がある。
コンビニ	できる限り営業を続ける。
デパート	原則として営業停止。(一部のATMは使用可能)
銀行	原則として営業停止。(一部のATMは使用可能)
病院	外来診療停止。
学校	授業は原則として中止(義務教育)が原則である。

緊急宣言が発令されると、その準備行動のため、大規模な避難行動が必要になることが予想されます。どのような事態になるのかを把握し、いざというときに冷静に安全な行動ができるよう、事前に家庭内で役割分担などを決めておきましょう。

●危険地域からは早く避難を
まず第1に、火の始発をまよまよ。その上で、津波・山崩れ・崖崩れのおそれがある危険な地域から早急に避難して下さい。その地域では、家内の安全なところを避難先に選んで下さい。

2007/11/05

日進高校 防災ニュース 11月号

保護部

6月号では、「災害宣言」について取り上げたいと思います。

災害宣言とは「2〜3日以内または数時間以内のマグニチュード8程度の大地震が発生し、学校内で震度6以上の揺れに襲われる恐れがある」という警告で、緊急時の避難行動に活用される場合に発せられます。警報が発せられると、テレビやラジオなどの放送のほか、市役所の広報車やサイレンなどからも伝えられます。

緊急宣言について

緊急宣言とは「2〜3日以内または数時間以内のマグニチュード8程度の大地震が発生し、学校内で震度6以上の揺れに襲われる恐れがある」という警告で、緊急時の避難行動に活用される場合に発せられます。警報が発せられると、テレビやラジオなどの放送のほか、市役所の広報車やサイレンなどからも伝えられます。

緊急宣言後のライフライン

電話	使用できるが、できるだけ限られる。
ガス	使用できる。使用するときガスを器具から離れたい。
電灯	できる限り使わない。どうしても使わなければならない場合は、1人1人確認し、消火器を準備し、消火器がなくなるまで使用を続ける。
バス	付近の安全なところまで運行し、運行は中止される。
鉄道	乗客の安全な場所に待機し、運行は中止される。
道路	避難場所や避難経路が確保されるため交通規制がある。
コンビニ	できる限り営業を続ける。
デパート	原則として営業停止。(一部のATMは使用可能)
銀行	原則として営業停止。(一部のATMは使用可能)
病院	外来診療停止。
学校	授業は原則として中止(義務教育)が原則である。

緊急宣言が発令されると、その準備行動のため、大規模な避難行動が必要になることが予想されます。どのような事態になるのかを把握し、いざというときに冷静に安全な行動ができるよう、事前に家庭内で役割分担などを決めておきましょう。

●危険地域からは早く避難を
まず第1に、火の始発をまよまよ。その上で、津波・山崩れ・崖崩れのおそれがある危険な地域から早急に避難して下さい。その地域では、家内の安全なところを避難先に選んで下さい。

2007/11/05

日進高校 防災ニュース 11月号

保護部

9月号「防災の日」や「食糧の日」など、身のまわりの安全をもう一度見直す機会があります。地震や火災が起きた時の避難経路や、いざという時の非常持ち出し品、食糧箱の中身などを確認しましょう。

さる平成19年8月29日(水)〜30日(木)
日進高校避難所宿泊体験を実施しました。

●中庭で、地域の方々と一緒に「こじん」(餅汁)の炊き出しをしました。

●避難54名での炊き出しや食事。●皆さん避難所生活の思い出を語り合いました。

日進高校防災10か条をつくりました。

1. 身の危険
2. 家族との連絡・合い
3. 家具の固定
4. 非常持ち出し品
5. 地域とのコミュニケーション
6. 非常持ち出し品の用意
7. 助け合い・助け合い
8. 情報収集
9. 避難場所の確認
10. 1つの家族で

★「防災ニュース」(移るかのひまわり) 掲載の第2回公開。9月25日 文化祭の日 日進高校 体育館で上演

2007/11/05

日進高校 防災ニュース 11月号

保護部

防災企画第2弾「名古屋市港防災センター見学」集まれ、生徒諸君！！

★ 災害をバーチャル体験し、災害発生時における行動力を身につけよう！！

実施日時
平成19年11月10日(土)19:30〜11:30

場所
名古屋 市 港 防 災 セ ン タ ー

内容
体験コース (所要時間 約2時間)
防災の講話
地震体験
避難訓練
伊勢湾台風を知る
その他、消防へ(体験訓練、消火体験、通報体験などができる。

対象
希望生徒 15名程度(先着順)
参加費無料
交通費支給

2007/11/05

日進高校 防災ニュース 11月号

保護部

防災ボランティア
臨時・臨時大震災のよき大きな災害が来れば、ボランティアが活躍します。自らの町を守る自主防犯組織等に対して、ボランティアは、防災のために金銭から離れずボランティア力を十分に発揮する際には、ボランティアの熱意と情熱からのニーズを調整するボランティア・コーディネーターおよびボランティアの協力・連絡が必要不可欠で、連絡ボランティアのみならず、自己完結できるように、自己完結できるようにしよう。

ボランティアに参加する人は、忘れずに用意しましょう！！

11月の準備
タオル・歯ブラシ・洗面・水筒・メモ・筆記用具
保護服の着用(ヘルメット・ヘルメット・ヘルメット・ヘルメット)
ヘルメット・ヘルメット・ヘルメット・ヘルメット
ヘルメット・ヘルメット・ヘルメット・ヘルメット

日進高校ボランティアコーディネーターの会をご紹介します！！
日進高校ボランティアコーディネーターの会は、平成14年1月17日に発足し、愛知県が生産するボランティアコーディネーター一環組織、の得た者により日進高校防災ボランティアコーディネーター会を立ち上げた組織です。この会の目的は、日進高校生徒会連合会との連携を図り、日進高校の防災活動に貢献することです。日進高校の防災活動に貢献することです。日進高校の防災活動に貢献することです。

TEL: 0561-73-4885
FAX: 0561-73-4954



避難所宿泊体験



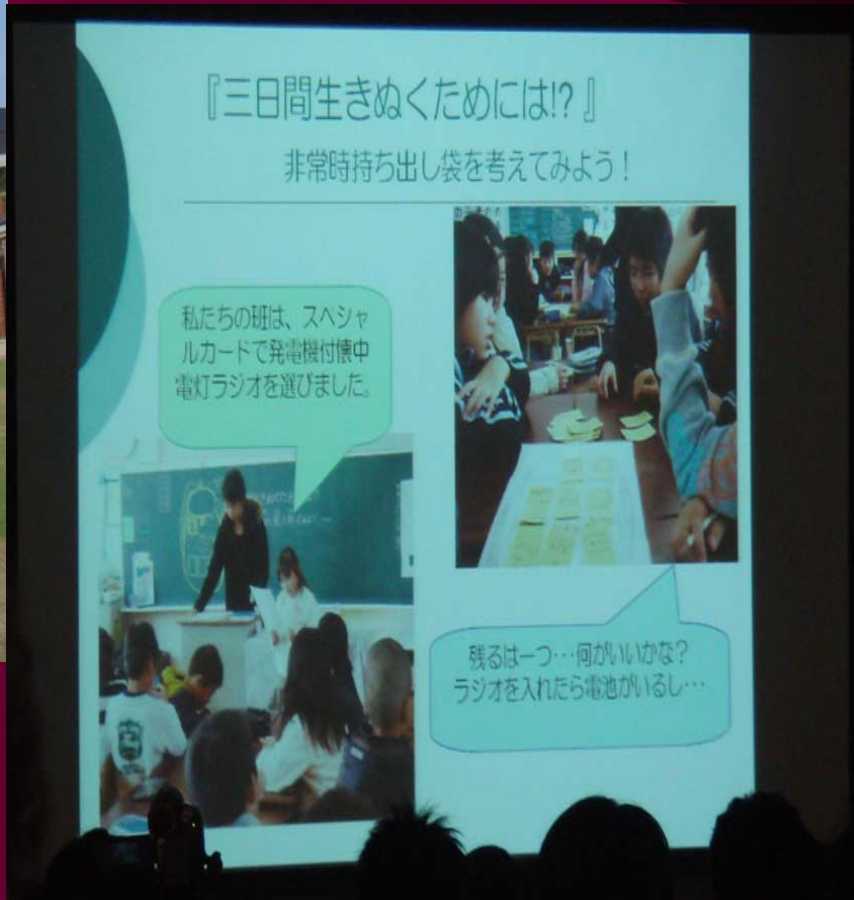
平成19年度愛知県・日進市総合防災 訓練にボランティア活動員として参加



防災ミュージカル 「はるかひまわり」4回上演



神戸防災ワークショップへ参加



名古屋市港防災センター一見学

体験コース
防災の講話
地震体験
煙避難体験
伊勢湾台風を知る
消防ヘリ試乗体験、
消火体験、通報体験



防災救急法研修会



防災カルタ取り大会



